

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 敬愛会

令和2年度事業報告

「パンデミック」という耳慣れない言葉が忽然として表れ、瞬く間に新型コロナウイルスという大波に全世界が飲み込まれ、既に感染者数が1.68億人、死亡者数は349万人を超えている。国内では2月から医療従事者、4月から75歳以上の高齢者を中心にワクチン接種が開始されたが、全国民への接種が終了する時期は未だ明確にされていない。また、発生から一年半余りが経過した今でも効果が証明された治療薬は開発されておらず、未だ収束の見通しはたっていない。

感染した場合に重症化しやすいと言われる基礎疾患を抱えた高齢者が、集団で生活（利用）している高齢者介護施設においては、常に集団感染の脅威にさらされており、緊張と感染予防対策に追われた1年であった。幸いにも当法人事業所利用者及び従業員への感染はなかったものの、面会禁止や行事、クラブ活動の中止等家族や地域との繋がりが閉ざされる中で、不安を抱える入居者や家族が多く見受けられた。そのような中で、タブレットを活用したテレビ電話、『窓越し面会』や面会禁止など感染状況に応じた対応、園庭での食事会などを行い入居者、家族の不安の解消や生活の活性化に取り組んだ。職員に対しては、旅行や外出・外食の規制など私生活においても他の企業に比べて厳しくせざるを得ない状況にある。抑圧的な生活にストレスを抱えながらも、介護従事者としての役割と責任の重大さを理解し、懸命に取り組んでいただいていることに感謝したい。経営面では、感染拡大地域にある事業所や感染症が発症した施設に比べて、経営が極端に逼迫するような状況には至っていないものの、殆どの事業で稼働率（利用者）が減少したのに加え、感染予防のための備品、消耗品等の費用が嵩んだことから、法人全体の収益率は1.3%の減益となり、厳しい状況がみられる。そのような中で、コロナ対策資金として介護サービス事業所等感染症対策支援事業支援金が支給された。また、介護施設等従事者に対して慰労金が支給された。厳しい条件の下、介護現場で懸命に頑張る職員に対して励ましとなった。巨額のコロナウイルス対策費が必要な中で誠に感謝に堪えない。

加えて、コロナ感染症はその他の計画にも少なからず影響を及ぼした。全職員を対象とする職場内研修の中止や諸会議、委員会活動が制約を受ける中で、喫緊する課題について重点項目に掲げ取り組んだ。職員の新旧交代が進む中で、新たな中間管理職の下での人材育成を目的としたハピネスシートを導入、運用上の問題や課題について検討を進めながら精度を上げ、コミュニケーションツールとして活用することで中途離職の防止やキャリアアップに繋がることを期待している。ユニットケア導入により職種間の連携が重要となる中で、それぞれの職種が専門性を確保した上で他職種と連携し入居者の支援にあたる『協働ケア体制』の確立を目標に掲げてきたが、各職種の管理者が一堂に会するセンター室の機能を活かし、職種間、ユニット間のスムーズな指示、伝達、調整等がなされるようになってきた。研修計画も大きく変更せざるを得ない状況にあった。年度後半よりWeb形式による研修が実施されるようになってきたが、これを機にこれからの研修体制が変化していくことが考えられる。人材確保の面では新たに3名の介護ヘルパーが入社、新規利用者も増加しており、実績回復に期待がかかる。職員への負担軽減、業務省力を目的として入浴用リフターの整備、ICT導入による記録システムの改善を行った。『テクノロジーの活用によるサービスの質の向上と業務の効率化』に向けて施策が大きく転換しようとしている中で、機器、システム導入に伴う費用対効果、助成金の活用等を念頭におき、新たな仕組みに適應する体制づくりに取り組んでいかなければならない。

1. 法人活動報告

1) 理事会開催状況

○第1回理事会

期日及び場所：決議の省略の方法により行う。

[報告事項]

- ① 令和1年度社会福祉法人敬愛会社会福祉充実残額について

[協議事項]

- ① 令和1年度事業報告及び決算報告の承認について
- ② 令和2年度社会福祉法人役員報酬総額案について
- ③ 評議員会の決議の省略について
- ④ 評議員会の招集事項について

○第2回理事会

期日：令和2年1月28日（土）

場所：小林市野尻地区農村環境改善センター会議室

[報告事項]

- ① 業務報告
- ② 令和2年度上半期事業実績報告
- ③ 令和2年度中間監査報告

[協議事項]

- ① 令和2年度第1次補正予算に関する件
 - ・施設会計第1次補正予算案
 - ・ユニット型施設会計第1次補正予算案
 - ・デイサービス会計第1次補正予算案
 - ・ヘルパー会計第1次補正予算案
 - ・グループホーム会計第1次補正予算案
 - ・居宅支援事業会計第1次補正予算案
- ② 介護老人福祉施設運営規程及びユニット型介護老人福祉施設運営規程一部改定に関する件
- ③ その他

○第3回理事会

期日及び場所：決議の省略の方法により行う。

[報告事項]

- ① 令和2年度事業実施状況について

[協議事項]

- ① 令和2年度第2回収支補正予算案の承認について
 - ・本部会計令和2年度第1次補正予算案
 - ・従来型施設会計令和2年度第2次補正予算案
 - ・ユニット型施設会計令和2年度第2次補正予算案

- ・デイサービス会計令和2年度第2次補正予算案
- ・ヘルパー会計令和2年度第2次補正予算案
- ・グループホーム会計令和2年度第2次補正予算案
- ・居宅支援事業会計令和2年度第2次補正予算案
- ・地域包括支援事業会計令和2年度第1次補正予算案

○第4回理事会

期日：令和3年3月27日（土）

場所：小林市野尻地区農村環境改善センター会議室

[報告事項]

- ① 業務報告

[協議事項]

- ① 令和3年度事業計画に関する件
- ② 令和3年度事業計画に関する件
- ・令和3年度本部会計収支予算案
 - ・令和3年度施設会計収支予算案
 - ・令和3年度ユニット型施設会計収支予算案
 - ・令和3年度デイサービス会計収支予算案
 - ・令和3年度ヘルパー会計収支予算案
 - ・令和3年度グループホーム会計収支予算案
 - ・令和3年度居宅支援事業会計収支予算案
 - ・令和3年度地域包括支援事業会計収支予算案
- ③ 令和3年度職員人事に関する件
- ④ 評議員選任候補者の推薦に関する件
- ⑤ その他

2) 評議員会開催状況

○第1回定時評議員会

期日及び場所：決議の省略の方法により行う。

[報告事項]

- ① 令和1年度社会福祉法人敬愛会社会福祉充実残額について

[協議事項]

- ① 令和1年度事業報告及び決算報告の承認について
- ② 令和2年度社会福祉法人敬愛会役員報酬総額について
- ③ 評議員会の決議の省略について
- ④ 評議員会招集事項について

3) 法人監査の実施状況

○決算監査

期日：令和2年6月2日（火）

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

監査内容

- ① 令和1年度事業報告
- ② 令和1年度決算報告

監査委員

監事 大谷 幸一

監事 中嶋 リツ子

立会人

理事長、施設長、事務長、課長、係長、主任、各責任者等

○中間監査

期日：令和2年11月24日（火）

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

監査内容

[経理執行状況]

- ① 令和2年度上半期予算執行状況
 - ・月次試算表(令和2年4月～9月)
 - ・介護保険事業実施状況(令和2年4月～9月)
- ② 令和2年年度上半期経理事務執行状況
 - ・通帳、小口現金出納簿
 - ・会計伝票
 - ・証憑関係
 - ・契約関係書類

[事業実施状況]

- 事業計画実施状況
- 業務関係記録の検査
- ヒアリング

[人事関係]

- ④雇用関係書類
- ⑤給与台帳
- ⑥雇用状況

監査委員

監事 大谷 幸一

監事 中嶋 リツ子

立会人

理事長、施設長、事務長、課長、係長、主任、各責任者等

4) 研修会参加状況（別紙）

2. 令和2年度施設整備・設備整備状況

1) 設備等整備

・グループホーム浴室改修工事

2) 設備整備

・グループホーム浴室リフト付きシャワーキャリー（2台）導入

3. 令和2年度決算報告（別添）

4. 令和2年度介護保険事業等実績（別紙）

5. 事業別運営状況

5. 事業別運営状況

1) 介護老人福祉施設特別養護老人ホームきりしまの園

空床型短期入所生活介護事業所 特別養護老人ホームきりしまの園

本年度の退去者数は10名で、死亡による退去者数が8名となっている。うち、5名の方について看取りを行った。平均在園年数は前年度に比べて1年5ヶ月短くなっている。20年入居されていた方が亡くなられたこと、入居して3年未満の方が5人亡くなっていること、心身機能の低下により医療的ケアを必要とする入居者が増加していること等が考えられる。要介護度状態には大きな変化はみられないが、重度の認知症高齢者が増加してきている。年間延べ利用者数は10,501人で前年度に比べて151人減少し、稼働率は95.9%となった。短期入所事業（空床利用型）延べ利用者数は149日で、ほぼ前年度並みとなっている。長期・短期全体の稼働率は97.3%で前年度に比べて1.1%低下している。要因としては、前年度に比べて延べ入院者数が144名増加したことによるもので、うち1ヶ月を超える長期入院者が4名となっている。人件費率は73.73%で4.19%増、収益率は1.15%で3.29%減益となっている

2) ユニット型介護老人福祉施設きりしまの園

ユニット型短期入所事業きりしまの園

本年度の退去者数は8名で、死亡による退去者数が5名となっている。うち、1名の方について施設内で看取りを行った。平均在園年数、要介護度状態共に前年に比べて大きな変化はみられない。年間の延べ利用者数は10,351人で、前年度に比べて176人減少し、稼働率は94.5%と前年度を下回っている。入院患者数はほぼ前年度並みで、稼働率が低下した要因としては、退去後次の入居までに時間を要したことが考えられる。できる限りスムーズに補充できるよう入居登録者実態調査の活用や、地域医療連携室、居宅介護支援事業所との連携を密に行い、事前に情報を把握しておくことが必要である。短期入所事業については延べ利用者数で84人減少し、稼働率は102.7%となっている。長期・短期全体の稼働率は96.6%で前年度に比べて2%低下している。短期入所事業については、上半期新型コロナウイルス感染症による影響を受けたが、後半利用者数が増加したことで持ち直す結果となった。人件費率は69.38%、収益率は7%で2.64%減益となっている。

3) 通所介護事業（きりしまの園デイサービスセンター）

新型コロナウイルス感染症の影響を最も受けたのが通所介護事業である。本人及び同居家族が新型コロナウイルス感染地域への往来や接触があった場合に、感染予防対策として利用を制限したことや、センター内での感染を恐れて利用を休止するケースもあり、上半期における1日あたりの平均利用者数は21.2人と極端に低くなった。後半より利用者数が急激に回復したことで、事業活動収入は前年度に比べてやや減少した程度に止まった。総合事業を含む年間延べ利用者数は8,430人で1日平均23.3人、稼働率は67%となった。収益率は8.4%で前年比で2.57%増、人件比率は72%で前年比で1.14%減となった。

介護給付費の削減を目的に、要支援及び総合事業利用者のうち自立度の高い利用者の更新停止、区分変更が行われている。総合事業利用者については年度当初に比

べて実員で10人減となり、次年度も更に減少することが予測される。

4) 訪問介護事業（きりしまの園ヘルパーセンター）

本人及び同居家族がコロナウイルス感染地域への往来や接触があった場合に、派遣を中止せざるを得ないケースがあった。家族、ご利用者に了解を得た上で弁当の配達や買い物などの支援を行った。

地域医療連携室、地域包括支援センター並びに居宅支援事業所との連携により、以前に比べて訪問介護事業の利用に関する情報が多く寄せられるようになってきた。

また、永年に亘っての課題である人材確保については、介護職員初任者研修助成制度を活用して資格を取得した職員や再雇用者職員を含め4名のヘルパーを確保することができ、新たな派遣希望にも応じられるようになってきた。訪問介護事業については3月末の派遣世帯数が27世帯となり、年度当初に比べて8世帯増加した。年間延べ派遣時間数は3,039時間で前年度に比べて533時間増の増となっている。一方、介護予防総合事業は年間派遣時間数が1,240時間で前年度に比べて76時間減少している。デイサービス同様、自立度の高い利用者についての更新停止や区分変更が進められたことによるもので、3月末の派遣世帯数は、年度当初に比べて5世帯減少し16世帯と減少している。派遣実績の増加により収益率はやや改善されたものの以前としてマイナスの状況にあり、報酬単価の高い介護給付サービス利用者数を増やしていくことで、プラスに転じるよう取り組まなければならない。

5) 認知症対応型共同生活事業（グループホームむつみ）

基本理念・ケア方針に沿って、認知症を抱えながらも、ご利用者お一人おひとりがかけがえのない一人の人として尊重され、ご家族のご協力を頂きながら豊かで自律した暮らしを営むことができるように支援に取り組んだ。前年度に比べて入居者の状態は安定しており、入居者の年間入院日数が0日となり、99.1%という高稼働率となった。結果、前年度に比べて事業活動収益は増加したものの、感染予防対策費用や入浴機器設置に伴う支出に伴い収益率はマイナス5.71%となった。

高齢化、ADLの低下により、一般浴での入浴が困難になる入居者が増加してきたことに加え、介護職の殆どが女性であることから入浴にかかる負担を軽減するために、小林市地域医療介護総合確保事業費補助金を受けてリフト式機械浴を導入した。利用者にとっても不安なく入浴できることから大変好評である。これにより、特養を含む全ての入居施設にリフト浴が導入された。

6) 居宅介護支援事業（きりしまの園居宅介護支援センター）

心身に障害を抱えながらも、住みなれた居宅、地域において暮らしが継続できるよう行政、医療機関、介護事業所との連携に努めた。医療機関より退院後の支援の向けた新規の依頼も多くみられた。年間のケアプラン作成数は前年度に比べて11件増加し、一月あたりのプラン作成数は61.2件となった。新たな利用者が増える一方、一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加、認知機能の低下等により家庭での介護に限界があり、介護施設に入居するケースも増加している。また、利用者の中には複雑な家庭環境の中でネグレクトや虐待などの事案もあり、ご利用者の尊厳が守られ自律した生活が維持できるよう、行政、地域包括、医療、介護事業所等との連携を図りながら支

援していきたい。

コロナ感染予防対策のために計画したサービスが受けられないケースが見られた。次年度も感染拡大が続くことが予測されることから、サービス事業所が休止した場合の支援方法についても検討しておく必要がある。

7) 地域包括支援事業（のじり地域包括支援センター）

地域包括支援センターが主体となって計画してきた事業の多くがコロナ感染症拡大防止のために休止せざるを得ない状況となった。また、生活支援コーディネーターの方々が中心となり、積極的に展開してきた茶飲み場や貯筋ステーション、サロンなどの活動も一時的な活動休止に追い込まれた。在宅で行き場を失った高齢者をフォローするために、急遽『在宅高齢者訪問調査事業』が実施され、野尻地区内 328 人を対象に訪問調査員による調査が行われた。前年度に比べて、地域包括支援センターの主たる業務の一つである総合相談業務が倍増したのは、調査開始に伴う相談受付業務やフォローのために自宅を訪問したことが要因として考えられる。

コロナ感染症予防対策により、居宅介護支援事業所連絡会議や主任介護支援専門員連絡会、「びっきょん会」等の諸会議や認知症サポーター養成講座並びにリーダー養成講座、認定ヘルパー養成講座など殆どの会議や研修会の殆どが中止となった。地域ケア会議のように年度後半よりオンラインによる会議として再開されたものもある。コロナ感染症の収束時期が見込めない中で、また、効率的な意味からもオンラインを活用した会議、研修等への転換も考えられる。

これまで女性を中心とした地域支援活動に、男性会員を中心とした有償ボランティア「やっちみろ会」が発足し活動が始まったことに非常に期待が高まる。

介護保険事業実績表

[令和2年度]

[社会福祉法人 敬愛会]

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	摘要
従来型 介護老人福祉施設 (定員:30)	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	延利用者数前年比:△151人 稼働率95.9% 前年比△1.1%
	利用実人員	31	30	31	29	30	30	31	31	30	31	30	30		
	延べ利用者数	884	926	847	885	866	887	900	857	873	883	827	876	10,501	
	1日平均利用者数	29.47	29.87	28.23	28.55	27.61	29.57	29.03	28.57	28.16	28.48	29.54	28.26	28.77	
ユニット型 介護老人福祉施設 (定員:30)	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	延利用者数前年比:△176人 稼働率:94.5%前年比:△1.4%
	利用実人員	31	29	29	30	30	30	31	30	30	30	28	30		
	延べ利用者数	850	875	853	854	890	869	851	887	897	863	783	879	10,351	
	1日平均利用者数	28.33	28.23	28.43	27.55	28.71	28.97	27.45	29.57	28.94	27.84	27.96	28.35	28.36	
通所介護事業	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	362	延利用者数:前年比△39人 1日平均利用者数:15.77人
	利用実人員	43	47	45	46	44	47	51	51	52	51	54	50		
	延べ利用者数	386	438	398	410	428	432	541	530	556	486	532	570	5,707	
	1日平均利用者数	12.87	14.13	13.27	13.23	13.81	14.40	17.45	17.67	17.94	17.36	19.00	18.39	15.77	
総合事業	利用実人員	44	44	43	43	43	43	43	44	41	39	40	37		延利用者数:前年比△84人 1日平均利用者数:7.52人 全事業延利用者数:前年比△123人 全事業1日平均利用者数:23.29人
	延べ利用者数	245	239	241	234	215	219	231	242	240	188	211	218	2,723	
	1日平均利用者数	8.17	7.71	8.03	7.55	6.94	7.30	7.45	8.07	7.74	6.71	7.54	7.03	7.52	
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	362	
通所事業計	利用実人員	87	91	88	89	87	90	94	95	93	90	94	87		延べ派遣時間数:前年比533時間増 利用実人員:前年比8人増
	延べ利用者数	631	677	639	644	643	651	772	772	796	674	743	788	8,430	
	1日平均利用者数	21.03	21.84	21.30	20.77	20.74	21.70	24.90	25.73	25.68	24.07	26.54	25.42	23.29	
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
訪問介護事業	利用実人員	19	22	23	22	21	22	22	22	25	26	27	27		延べ派遣時間数:前年比△76時間 利用実人員:前年比△5人 全事業延べ派遣時間数前年比:4:57時間増
	延べ派遣時間数	226	295	261	306	277	285	290	257	289	258	276	289	3,309	
	利用実人員	21	20	20	18	18	17	19	18	16	15	14	16		
	延べ派遣時間数	126	115	119	111	105	99	108	99	98	84	80	96	1,240	
訪問事業計	利用実人員	40	42	43	40	39	39	41	40	41	41	41	43		延利用者数:前年比△84人 稼働率(空床併用型含):前年比△84人 稼働率(ユニット型):102.7%
	延べ派遣時間数	352	410	380	417	382	384	398	356	387	342	356	385	4,549	
	1日平均利用者数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
空床型併用 短期入所生活介護事業	利用実人員	0	0	1	1	2	2	0	0	1	2	2	1		延利用者数(空床併用型含):前年比△84人 稼働率(ユニット型):102.7%
	延べ利用者数	0	0	6	30	30	8	0	0	30	23	8	14	149	
	1日平均利用者数	0.00	0.00	0.20	0.97	0.97	0.27	0.00	0.00	0.97	0.74	0.29	0.45	0.41	
	利用実人員	30	26	30	29	28	29	32	29	29	30	26	24		
ユニット型 短期入所生活介護事業 (定員:10)	延べ利用者数	287	305	282	342	315	308	319	291	310	326	316	347	3,748	延利用者数:前年比81人増 稼働率:99.1% 前年比1.4%増
	1日平均利用者数	9.57	9.84	9.40	11.03	10.16	10.27	10.29	9.70	10.00	10.52	11.29	11.19	10.27	
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	利用実人員	18	18	19	19	18	18	18	18	18	18	18	19		
認知症対応型共同生活事業 (定員:18)	延べ利用者数	524	531	540	548	558	540	558	540	558	558	504	558	6,517	延利用者数:前年比11件増 稼働率:99.1% 前年比1.4%増
	1日平均利用者数	17.47	17.13	18.00	17.68	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	17.85	
	営業日数	60	61	61	57	61	62	63	59	62	66	62	60	734	
	利用実人員	53	53	52	55	57	57	58	54	54	60	56	56	665	
居宅介護支援事業	地域包括支援事業	48	45	45	43	42	42	43	45	43	36	39	38	509	(プラン作成数総計1174件 前年比:△90件)

2. 施設外研修

[施設事業]

研修会名	内容	日付	参加職種	人数
小林秀峰高校専門職講座		R2.6.18	看護係長	1
介護福祉士実務者研修		R2.9.13, 20 R2.11.15, 22, 29 R2.12.6, 13	介護職員	1
みんなの認知症見立て塾		R2.9.25 R2.11.19 R2.12.3, 17	介護主任、介護職員	5
喀痰吸引等研修(指導者講習)	・制度の概要・研修カリキュラム・施設・事業所の体制整備について ・安全管理体制とリスクマネジメント・喀痰吸引のケア実施について ・経営栄養のケア実施について・質疑応答	R2.10.18	看護係長	1
地域における子どもの支援研修会	説明:「子どもの貧困」とは? 講義:「外から見えない“つらい”を発見するための入り口支援～子ども宅食「みまたんどうぞ便」～	R2.11.16	生活相談員	1
キャリア教育における講師派遣	職種別講話	R2.11.19	看護係長	1
県老々協外国人労働者受入対策委員会	1. 今後の委員会活動について 2. 外国人労働者受入れに関するアンケート調査等について 3. その他	R2.12.4	事務長	1
新型コロナウイルス感染症に携わる高齢者施設等への必要職員派遣に伴う感染症対策研修会	高齢者施設等へ応援職員を対象とした感染症対策及び防護服着脱等に関する研修 講義「県内でのCOVID-19クラスター発生時の全体像及びDMAT等の動きについて」	R2.12.13	看護係長	1
県栄養士会医療事業部研修会(web)	講演①「摂食嚥下と各疾患の関係性、疾患に適した食物の物性について」 講演②「栄養管理(疾患)に基づく栄養アセスメント、今後求められる管理栄養士の役割」	R2.12.18	管理栄養士	1
九州ブロック実地研修施設懇談会		R3.3.18	施設長、介護課長	2

[居宅サービス事業]

研修会名	内容	日付	参加職種	人数
成年後見制度市町村職員等基礎研修	・講義「成年後見制度に関する基礎知識」 ・講義「成年後見申立てに関する留意点」・講義「市町村長申立ての実務」	R2.6.22	看護師	1
高齢者虐待対応研修①基礎研修	・県報告「高齢者虐待の状況について」 ・講義 I 「高齢者虐待防止法の理解と市町村の責務」 ・講義 II 「養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の概要」	R2.6.29	主任介護支援専門員	1
主任介護支援専門員更新研修		R2.7.2.11 R2.9.12.30 R2.10.2.12, 20 R2.11.9	主任介護支援専門員	1
県自立支援型ケアマネジメント研修会	・講義1. 地域包括ケアシステムについて ・講義2. 自立支援型ケアマネジメントの考え方とプラン作成について	R2.7.13	看護師	1
県南ブロック通所介護部会研修及び管理者懇談会	・前年度の取組報告・組織育成費の活用協議・令和3年度役員選出・令和2年度職員向け研修(案)協議・その他	R2.7.18	介護係長	1
介護支援専門員更新研修(実務経験者)		R2.8.20, 21 R2.9.7, 18	介護支援専門員	2
地域福祉コーディネーター連絡会議・スキルアップ研修会	連絡会議・実践発表・質疑応答 スキルアップ研修会・講話・講義・演習	R2.10.23	主任介護支援専門員	1
介護支援専門員ケアマネジメント向上支援事業ケアナビゲーター委嘱式	協議事項 1. 事業概要の説明 2. 実績報告 3. 今後のスケジュール 4. その他	R2.10.27	主任介護支援専門員	1
県生活支援コーディネーター連絡会	取組報告①「日向市社会福祉協議会における取組」 取組報告②「小林市、小林市社会福祉協議会における取組」	R2.10.27	地域相談員	1
地域における子どもの支援研修会	説明:「子どもの貧困」とは? 講義:「外から見えない“つらい”を発見するための入り口支援～子ども宅食「みまたんどうぞ便」～	R2.11.16	生活相談員	1
みんなの認知症見立て塾		R2.11.19 R2.12.3, 17	介護職員	1
高齢者虐待対応研修②実務者研修	1. 講義・演習 I 「養護者による高齢者虐待への対応について～事例を踏まえて～」 2. 講義・演習 II 「養護者による高齢者虐待への対応について～帳票活用のポイント～」	R2.11.27	主任介護支援専門員	1
助け合いの輪！みやざき交流会2020	第1分科会:食でつながる新しい「カタチ」 第2分科会:ICTやSNSでつながる新しい「カタチ」 第3分科会:新しい居場所の「カタチ」	R2.12.13	生活相談員	1
地域福祉コーディネータースキルアップ研修	ステップ1:横軸となる制度の理解 領域に関係なく生活課題を捉える視点 ステップ2:ニーズ把握と必要な社会資源を考える	R3.2.15	居宅介護課長	1

令和1年度職員研修実施状況

1. 施設内研修

[全体職員研修]

日時	研修名	内容
R2.7	人権擁護・虐待に関する研修会	身体拘束とは?～身体拘束廃止に向けて～
R2.10.28, 11.4	面談実施者向け施設内研修(ハピネス研修)	個人面談の必要性とハピネスシートの活用について
R2.12	事故防止・感染予防研修会	事故防止研修, 防げる事故
R3.3	2021年度事業方針	